

第3次香芝市生涯学習推進基本計画（素案）パブリックコメントにおけるご意見と、ご意見に対する考え方

ご意見No.	いただいたご意見		ご意見に対する考え方		
	該当箇所（原文のまま※）	ご意見の内容（原文のまま）	回答	考え方	関係所属等
1	P8～9	進捗状況の指標の表し方について、右肩上がりの矢印は一見、好転を示唆していると錯覚、解説を読み、未達成である項目の伸びしろであり、方向性を示ものとなるが違和感を覚えた。また関連活動評価の最後に「刑法犯発生件数の項目があるが、防犯活動の評価であろうと思うが明らかに異質であえて、この表に盛り込む必要があったか。	修正（追記）します。	<p>進捗状況の指標の「方向性」については、第2次生涯学習推進基本計画の中で、「一般市民アンケート調査からの指標」において計画策定時の実績値から上昇を目指すものとして記載しておりました。「生涯学習関連施設・活動に関する指標」の記載は、これに合わせたものです。ご指摘を受けて、原文の「方向性」という文言から、より伝わる表現にすべきと判断し、「目指す方向性」と修正（追記）させていただきます。</p> <p>指標の「刑法犯発生件数」は、第2次生涯学習推進基本計画において取り組みの進捗状況を評価するためにその他の指標と合わせて設定したものです。ご指摘のとおり、防犯活動等を通して「青少年健全育成に向けた支援活動の促進」を図ったり、「安心安全な防犯・防災活動の推進」による「地域コミュニティの充実」を目指す上での指標です。他項目が生涯学習施設の利用者数や活動の参加者数であるのに対して異質な指標ではありますが、計画の進捗状況を評価するに当たって必要な指標の一つとして記載しておりますので、こちらは素案のとおりとさせていただきます。</p> <p>■修正内容 P8、9 表「一般市民アンケート調査からの指標」、表「生涯学習関連施設・活動に関する指標」 【修正前】「方向性」 【修正後】「目指す方向性」</p>	生涯学習課
2	P13、P14 <注：P9、P10>	青少年野外活動センターは現在閉鎖されているのですが、指標等必要ですか？	次のとおり回答します。	「青少年野外活動センター利用者数」は、第2次生涯学習推進基本計画において、その取り組みの達成度を測るための指標として設定したものです。その他の指標と合わせて現状を把握し、第3次生涯学習推進基本計画においてその課題に取り組んでいくために記載しております。	生涯学習課
3	①アンケート結果 p15、p16	①生涯学習や地域への行事等の参加のアンケート結果では、20代、30代の参加が難しくなっていることが顕著に表れている。本計画の目指す姿「いつでも、どこでも、誰でも」を考えた場合、その年代への取組は特にどのようなことに配慮し実行されるのか。第2次計画までの取組や姿勢と明確に違うところ（特色）はあるか。	次のとおり回答します。	<p>ご指摘のとおり、アンケート調査の「この1年間の生涯学習」では、30歳代のかたの「活動している」割合が最も低く、「地域の行事、地域活動等への参加」では20歳代のかたの参加割合が最も低くなっています。また、「生涯学習を行っていない理由」として、「仕事や家事等が忙しくて時間がとれない」、「必要な情報がなかなか入手できない」という割合が多く、第2次生涯学習推進基本計画の進捗状況から見える課題としても、学習の環境づくり、きっかけづくりの一層の充実が挙げられます。</p> <p>こうした現状と課題を踏まえ、20代、30代の方々の学習ニーズに対応していくために、第3次計画ではオンライン学習やリカレント教育の推進、子育て世代や働く世代、青少年の学習機会の充実を図ります。とくに、子育てしながらも学べる環境や、子育てそのものにおける学びの環境づくりは、学びを通した人と人、人と地域のつながりづくりにもつながることから、学習環境の充実を進めていきます。また、学習情報の発信については、その手段も急速に多様化が進んでいることから、様々な媒体による情報提供体制の充実に注力することで、「学び」の情報を得やすい環境づくりを進めていきます。</p>	生涯学習課
4	P20 <注：P16>	20代の「あまり参加していない」「参加していない」の理由を教えてください。市外への就学等住まいが離れているためか、居住しているのに参加していないのかで今後の方針にも違いが出るかと思えます。	今後の取り組みの参考にします。	アンケート調査においてはその理由まで把握することはできませんが、昼夜間人口比率、地域経済循環における傾向を合わせると、居住していて日中等は市外に出ている方が多いことが推測されます。こうした方も含めて、全ての方が生涯学習を行うことができる環境づくりをいかに推進していくか、という視点は重要であると考え、計画を進める上でも念頭に置いて取り組む所存です。	生涯学習課
5	P22 <注：P18>	スポーツに関する活動の頻度について年代ごとの割合を教えてください。 ・子ども、高齢者では体力向上、体力維持、健康寿命をのばす等目的が変わるため方向性も異なると思えます。	次のとおり回答します。	10代の方では「ほとんど毎日」スポーツに関する活動をしている、という回答が多く、20代の方の回答は、「ほとんど毎日」から「月に2～3回くらい」までばらつきがあります。30代の方は「年に数回程度」、40代の方は「週に2～3回」、50代以上の方は「週に1回程度」が多くなっています。また、アンケートの項目「生涯学習活動を行う目的」として、「健康・体力づくりのため」という回答が48.6%で2番目に多く、関心の高さが伺えます。ご意見のように年代ごとにスポーツ活動をする目的も様々あるものと推測しますし、例えば子育て世代であったり障がいをお持ちの方であっても学習ニーズは多様であると考えますので、行政においては関係部局等と、また活動団体等、多様な主体とも連携して環境づくりに取り組みます。	生涯学習課
6	P23 <注：P19>	活動をしていない理由に「仕事や家事で忙しくて時間がない」割合が多いという結果ですが「仕事」「家事」の中にも「生涯学習」としての学びがあることを広く市民に伝えていくようにしてはどうでしょうか。	今後の取り組みの参考にします。	「生涯学習」とは、「その生涯にわたって自主的・自発的に行うことを基本とした学習活動」（平成20年2月中央教育審議会答申より抜粋）とも表現されます。ご意見のとおり、自分が学びたいと思う内容の学習のみならず、一見その障壁に見える活動にも視点を変えれば実は「学び」の機会はあるものと存じます。そうした生涯学習に関する啓発も進めていければと考えています。	生涯学習課

第3次香芝市生涯学習推進基本計画（素案）パブリックコメントにおけるご意見と、ご意見に対する考え方

ご意見No.	いただいたご意見		ご意見に対する考え方		
	該当箇所（原文のまま※）	ご意見の内容（原文のまま）	回答	考え方	関係所属等
7	P24 <注：P20>	生涯学習で学んだ事をどのように役立てたいかについて。「広く地域づくりやまちづくりに関する活動」に役立てたいと望む方も一定数おられるようなので、市民が創る生涯学習講座という場において還元（恩送り）を継続してはどうでしょうか。	今後の取り組みの参考にします。	「市民がつくる生涯学習講座」は、市民が多岐にわたる分野においてそれぞれの学習の成果を活かして活動いただいている、まさに生涯学習を体現するモデルの一つであると考えています。「恩送り」は、自分が受けた恩を直接その恩人に返すのではなく、別の方に送るものと解釈しますが、生涯学習の推進においてとても重要であると存じます。計画に基づいて、そうした環境づくりとその充実を進めてまいります。	生涯学習課
8	P24 <注：P20>	生涯学習情報の入手方法の希望について。ですが、世代ごとに使用しているSNSについて踏まえ、5年後、10年後の主たる情報入手方法にも目を向けて配信できるようにしておいてほしいです。例）現在、情報を必要としている方はLINEですが数年経つとtiktokやインスタを主に使っている世代が情報を必要になる可能性があるかと推測します。	今後の取り組みの参考にします。	情報の収集・発信方法については、ご意見のとおり刻々とトレンドが変化するものであり、近年それは加速していると認識しています。本市では広報紙の他にホームページ、Facebook、LINE、YouTube等の電子媒体を活用しており、施設の指定管理者においてはInstagram等も活用して情報提供や広報・周知も行ってはいますが、今後のニーズも見据えて幅広く検討していければと存じます。	I C T推進課 秘書広報課 生涯学習課
9	P25, P26身近な学習機会 <注：P21、P22>	全ての人が気軽に参加できるような講座や教室を増やす。の割合が54.6%と半数以上という結果を受けて、外に出にくい状況の方にも講座が受けられるようなオンライン形式も検討しているのでしょうか。教えてください。	次のとおり回答します。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、オンライン学習のニーズは以前にも増して高まっています。また、学習するための時間が取れないという方のニーズに対応できる、「いつでも、どこでも」学ぶための環境づくりに資する方策でもあります。市の講座等においても、多様な主体による発信においても、対面の学習の充実とともに進めていくべきものであると考えています。	生涯学習課
10	P25 <注：P21>	施設の満足度において。アンケート項目に施設利用の有無に関する項目があるのであれば、施設を利用した方で集計した結果で満足度をはかるといいかと思いません。それとは別に「わからない」という答えが多いところが一番検討するところだと思います。施設があるにもかかわらず利用していないからわからないのであれば、なぜ活用しないのか、ハード面かソフト面か。活用していない市民が活用するための計画を立てることもP7にあるSDGs「誰一人取り残さない」を達成するために大事なポイントだと考えます。	今後の取り組みの参考にします。	アンケートでは、施設利用の有無に関わらず、全ての方にとっての施設の意向を調査しております。ご意見のとおり「わからない」という回答の割合は、誰もが学習機会を得られる環境づくりを進めるために、今後の取り組みの方向性において重視すべき点です。施設を広く活用いただくために、整備や利用率の向上等の詳細な取り組みは、施設の整備に関する計画や指定管理者との連携のもと進めてまいります。	生涯学習課
11	P26, P48 <注：P22、P44>	取り組みの重要度について。ボランティア活動の支援→社協との連携は必須と考えますが、ボランティアセンターとの協働はどのように考えていますか。	次のとおり回答します。	ボランティアセンターとの協働は、本市の生涯学習の推進において欠かせないものであると考えます。本計画の策定委員会にもボランティア連絡協議会会長に委員として参画いただき、ボランティア活動の推進を始め様々な見地から策定にあたっていただいております。今後の取り組みについても、社会福祉協議会・ボランティアセンターとの連携・協働も含めてボランティア活動の支援等を推進していきます。	社会福祉協議会 生涯学習課
12	p26 <注：P22>	生涯学習に対する情報提供。例として生涯学習講座の周知は現在、広報かしばにおいて春に一度、一年分を掲載していますが、1年先の講座の募集では、年明けの講座において、予定が立たない、申し込みを忘れてしまうなど市民側への情報提供としては不足していると思われる。今後の周知についてどのように考えているか教えてください。	次のとおり回答します。	計画のパブリックコメントですので、個別の事業の詳細についてはここでは控えますが、様々な講座や教室、イベント・行事等も含めて、機会の充実につながる、より細やかな情報提供が必要であると認識しております。広報紙を始めホームページや様々な媒体で情報発信し、潜在的なニーズも含めて、受講希望される方に届く広報・周知について、計画に基づいて努めてまいります。	生涯学習課
13	P29 【指標の進捗状況】 7行目	・第2次生涯学習推進基本計画における評価指標は、ほぼすべてにおいて未達成でした。その要因の一つとして、社会情勢の変化があげられています。第3次基本計画において、この社会情勢の変化についてオンライン学習の推進以外でどのような取り組みを行う予定かご教示ください。	次のとおり回答します。	社会情勢の変化は様々な面で生涯学習の推進における課題に結びついているものと存じます。学習ニーズや方法の多様化は近年特に加速しており、これが利用者・参加者数の減少につながって、例えば指標の「市民図書館貸出冊数」等に影響していると考えられます。ただ、本市の都市経営市民会議でも述べられていますが、図書館の例では単に蔵書の回転数を上げるような、減少を増加に転じる対策のみならず、今後は利用していない方への訴求も含めて享受者層の広がりを目指す方向性が重要となります。市民図書館では既に電子図書館や図書の有料宅配サービス等、多様化に応える方策を打ち出し実施していますが、このような形で、それぞれの課題に応じた取り組みを今後も検討していきます。また、誰もが学ぶことのできる生涯学習環境の充実について、精神的・物理的なバリアフリーの推進や、文化・芸術、スポーツ・レクリエーションを始め様々な生涯学習を行いやすい環境づくりを進めるためには、行政の他部局や社会福祉協議会等関係機関と連携して取り組むことが重要です。例えばバリアフリーの推進に関して「香芝市バリアフリー基本構想」に基づく取り組みと連携したり、地域福祉の推進を掲げる「第3期香芝市地域福祉計画」、「第3期香芝市地域福祉活動計画」に基づく取り組みと連携・協働して進めることは大変効果的であると考えます。こうした例の他にも、社会情勢の変化による課題に応じた方策を、関係部局・機関等と連携を図りながら様々な検討し実施していきます。	都市計画課 市民図書館 社会福祉課 社会福祉協議会 生涯学習課

第3次香芝市生涯学習推進基本計画（素案）パブリックコメントにおけるご意見と、ご意見に対する考え方

ご意見No.	いただいたご意見		ご意見に対する考え方		
	該当箇所（原文のまま※）	ご意見の内容（原文のまま）	回答	考え方	関係所属等
14	P29～34	4. . . . 課題の整理については、委員会における分析と考察のまとめであるとわかるが（1）（2）（3）の内容に重複が多く、プランとしては展望（ビジョン）についても具体的な記述が欲しいと思った。	素案のとおりとします。	ご意見のとおり、第2章では「生涯学習を取り巻く現状と課題」としまして、その中の「4 香芝市の生涯学習における課題の整理」では、香芝市の生涯学習について現状と課題を記載しております。（1）では香芝市の地勢や人口動向から、（2）では第2次生涯学習推進基本計画に基づく取り組みの進捗状況から、（3）では令和3年8月から9月にかけて実施した市民・団体・事業所のアンケート調査結果から、それぞれ分析と考察を行っております。3つの違った分析において、結果に重複が出ていることから、そこに香芝市の生涯学習の推進においてとくに注力すべき点が現れているものと考え、今後の展望については、第3章以降の第3次生涯学習推進基本計画の基本理念を始めとする方針において示す形とさせていただきます。	生涯学習課
15	P35 基本理念 4行目	・IT技術の急速な進展により社会および生活環境は大きく変化しています。これからも進展するデジタル化に適応し、デジタル化による生活の質向上の恩恵を受けられるようデジタルデバイド解消の取り組みを充実させていただきたいと思えます。	今後の取り組みの参考にします。	第10期中央教育審議会生涯学習分科会においても、その議論の整理として、社会教育を通じた社会的包摂の実現が重要なことや、「ICT機器を利用できる者とできない者の格差（デジタル・ディバイド）の解消は、住民の安全や命を守ることにもつながる」ということが述べられており、またSDGsにおける「誰一人取り残さない」社会の実現を目指すという方向性は生涯学習の理念に通うものでもあります。本市においても、生涯学習の推進の中で誰もがデジタル活用できる環境づくりに向けた取り組みを進めていきます。例として、スマートフォンの使い方を学ぶことが出来る講座・教室を公民館等で開催したり、デジタル機器を利用する際の危険を回避するための学習をする出張講座等、学習環境の充実に向けて多様な主体の連携を進めて、幅広く取り組んでまいります。	ICT推進課 生涯学習課
16	P39 1行目	分野別基本計画（1）③ . . . 国際交流の学習の推進については解説文に触れる記述がないのが気になった。	修正（追記）します。	ご指摘のとおり、「国際交流」についての記述が必要と考えますので、下記のとおり修正（追記）いたします。 ■修正内容 P39 基本目標1（1）③人権・男女共同参画・国際交流の学習の推進 【修正前】 「市民がお互いに共生・共感しながら人権尊重の理念を正しく理解することができるよう学習機会の提供に努めるとともに、生涯学習に関わる様々な機会において人権意識の高揚を図り、人権が尊重されるまちづくりを進めます。また、だれもが性別にとらわれず自らの意思によって個性と能力を発揮することができる男女共同参画社会の実現をめざし、市民一人ひとりのライフスタイルに合った学習機会の充実を図るとともに、関係団体等と連携し意識の高揚に努めます。」 【修正後：上記の文末に下記を追記します。】 「市民が生まれた国や文化を問わず相互理解を深め、多様性を認め合うことで多文化共生の意識を醸成していけるよう、国際交流を推進する学習環境の充実を図ります。」	市民協働課 生涯学習課
17	P39 ⑤リカレント教育の推進	・AIやデジタル技術の進歩、効率化のための機械化により今後も経済環境は急速に進展していくと思われれます。その過程において、働き手は働き方や職種の変更を迫られるようなことも想定され、リカレント教育やリスキリングが重要になってくると思料します。その必要性についての啓発や環境整備を計画に組み入れていただきたく希望します。	修正します。	リカレント教育については、様々な技術の進展においてもその重要性が高まっていくことが想定されます。ご指摘を受けて、環境整備や啓発についても今後一層の取り組みが必要であり、計画においてそのことをより明確に表現すべきであると考え、下記のとおり修正いたします。 ■修正内容 P39 ⑤リカレント教育の推進 【修正前】 「社会人が学び直しのできる機会を充実させるため、教育機関や民間事業者（企業）との連携を強化する等、学習ニーズを踏まえた生涯学習の機会を提供します。」 【修正後】 「社会人の学び直しについて、教育機関や民間事業者（企業）等との連携を強化して、学習の必要性を啓発するとともに、学びやすい環境づくりを進めることで機会の充実を図ります。」	商工振興課 生涯学習課
18	P43	コミュニティスクールという言葉自体聞いたことのない方も多く見受けられます。他の項目も同様に、関係する方以外の方たちへの活動の周知にも力を入れてください。	今後の取り組みの参考にします。	「コミュニティ・スクール」も、確かに活動に関係されていない方にはイメージしづらい言葉のひとつかと存じます。こちらの言葉はパブリックコメント実施後に、計画案に追加している「資料編」の「用語説明」に解説を入れておりますが、概要としては、「学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進める」制度や、その活動等のことです。ただ、こちらのコミュニティ・スクールの例を始めとして、様々な主体の活動はこうした概要の一言では説明しきれないものですので、身近な活動として継続的に広報・周知することで、「そういった活動であれば参加してみたい」という方が増えて輪が広がり、地域の活性化につながるような機会の充実を図ります。	生涯学習課
19	P45	④多世代交流の場づくりの推進について【提言】 志都美幼稚園の休園に伴い、その跡地（園舎）を多世代交流の拠点として活用していただきたい。平日午前中から14時までは、多様な文化活動に使用でき、午後は志都美小学校の第2学童保育所として使用。土日には子どもと地域の高齢者の居場所として活用することが叶うと嬉しいですね。 また、地域自治集会所も積極的に生涯学習活動に使用できるよう働きかけていただきたいと願います。	今後の取り組みの参考にします。	ご提言いただいた内容は多世代交流を始めとする生涯学習の推進においてとても重要であると考えます。関係部局等に情報共有させていただき、活動の場として市内の様々な施設等を活用する既存の取り組みの充実、また新しい取り組みの検討を進めていきます。	生涯学習課

第3次香芝市生涯学習推進基本計画（素案）パブリックコメントにおけるご意見と、ご意見に対する考え方

ご意見No.	いただいたご意見		ご意見に対する考え方		
	該当箇所（原文のまま※）	ご意見の内容（原文のまま）	回答	考え方	関係所属等
20	P45	学習成果を発揮する機会の場所。においてもオンラインを活用する方向性もここで示してはどうでしょうか。	素案のとおりとします。	オンラインの活用は、近年とくに学習を進める上で重要性が高まっています。他方、人と人が対面でつながる学びもこれまで同様、あるいはそれ以上に重要性が再認識されており、これらはどちらも学習の成果を活かした活動においても有意義であると存じます。この両面において推進していく上で、あえて「オンライン」、「対面」と記載せずに幅広く機会の充実を図っていければと考え、素案のとおりとさせていただきます。	生涯学習課
21	P46 【基本的施策の内容】 ↓ ① 生涯学習施設の整備・充実	①「市民の文化活動やスポーツ・レクリエーション活動等の拠点となる施設の整備・充実」と記されるが、その整備計画は令和4年度に示される解釈で良いか。 ②「既存施設のより効果的な活用に向けた整備・充実、また複合化等も含めて検討」と示されるが、活動にはその場所は必須である。特にモナミホールが閉鎖され、教育委員の「文化活動に隙間があってはならない。」の指摘通り、住民のニーズに寄り添うことは重要である。そこで、本計画に対し以下に問う。 ⑦ 香芝市議会でも意見されていたが、「複合化等」と記されるのは、中央公民館とモナミホールの機能を含めた改築と解釈としてよいか。 ⑧ 香芝市公共施設等総合管理計画も現在改定に努められるが、その計画と本計画との整合性を既に協議も済まされた上での本計画への記入と解釈してよいか。 ⑨ 施設等の整備は、地教法第21条第1項第1号、2号、7号、12号及び13号に係る事務だが、義務事項である香芝市教育委員会において基本方針の決定の上、本計画を策定されているものと解釈してよいか。 ⑩ 人口減少の時代において、生涯学習の整備等の計画を示されることは、香芝市への転入策にも有効的であると高い評価が出来るものである。その詳細等は香芝市教育委員会として、今後は詳細に公表されるものと解釈してよいか。	次のとおり回答します。	①整備・充実については、計画期間内において、各施設の特性や現状、また市民ニーズ、時代の変化等に応じ、適宜、対応してまいりたいと考えており、現時点におきまして、令和4年度に整備計画を示すものではございません。 ②⑦「複合化等」という方向性は、現時点ではさまざまある選択肢の一つと考えております。施設のあり方について検討する際には、財政的な視点も踏まえ、市民の皆さまのニーズも把握しながら、最適な方法を検討してまいりたいと考えております。 なお、基本目標3にて「複合化等」と記載しておりますのは、中央公民館、モナミホールだけでなく、生涯学習に係る施設全般について充実を図っていくべく、その方針をお示ししたものでございます。 ⑧ 香芝市公共施設等総合管理計画との整合性につきましては、協議の上記入しているものです。 ⑨ 香芝市教育委員会では、令和3年6月の教育委員会会議において「香芝市の文化活動の推進に関する基本的な方針」を策定しております。この方針を踏まえ、教育委員会の附属機関である「香芝市生涯学習推進基本計画策定委員会」に諮問した上で、審議をいただき、第3次生涯学習推進基本計画の策定を進めております。その中で、生涯学習に係る施設についての基本的な方向性を示すものです。 ⑩ 生涯学習施設の新たな整備・機能拡充等をする際には、当該施設がまちの活性化と魅力向上に繋がることも意識し、広くお伝えするよう努めてまいります。整備等の計画については、教育委員会のみならず、香芝市全体で整備等の方針について協議し、その内容については適宜公表することで、透明性の確保を図りたいと考えております。	管財課 企画政策課 市民協働課 生涯学習課
22	②p46 行政の生涯活動推進体制の構築	②p46にあげられている「行政の生涯活動推進体制の構築」は非常に重要だと思うが、実際の取組では課題や難所は多いかと思う。課題の明確化、各部局との課題の共有、方策が必要かと思う。計画にもあるように、「所管の生涯学習課と各部局の機能的な連携」が見える形（図解や会議のスケジュール等）で今後示していただきたい。また、市民の学習意欲を高めるとともに、職員の方々の意欲も高まる取組みもそこに組み込んでいただきたい。	今後の取り組みの参考にします。	行政の推進体制については、部局間での課題の共有と、どの部局のどの事業が、生涯学習の何を推進するために重要であるか、方策の共有も重要であると存じます。そのためには、職員の生涯学習についての理解を深め、意欲を高めることも確かに重要となります。第3次生涯学習推進基本計画の策定ののちに、実施計画である生涯学習推進プランにより具体的な取り組みを定めていく予定ですが、行政の部局間で横断的に連携して進めていく必要がありますので、その過程においても職員の生涯学習の意識の高揚を図り、取り組みにつなげていければと考えています。また、その取り組みの進捗については、市ホームページ等により公表することで透明化を図ってまいります。	生涯学習課
23	P46	行政の生涯学習推進体制の構築 各部局との機能的な連携は必須と思います。「生涯学習」と銘打っていない学習に関しても、連携をとってほしいと思います。どの場所においても学びはできるのが生涯学習であることを市民に広く伝えてください。	今後の取り組みの参考にします。	ご意見のとおり、「いつでも、どこでも、誰でも」学習の機会を得られることが、生涯学習の推進において大切になると存じます。また、一人ひとりにとって学習ニーズは様々であり、多様な生涯学習の機会の充実において、例えば学習情報の収集・提供では一元的と多面的の両方が求められることもあります。行政における各部局間の連携は、そうした多様なニーズに応える上で欠かせないものであり、生涯学習の推進について全庁的に取り組んでまいります。	生涯学習課
24	③p47 情報発信	③p47 情報発信において、「SNS等電子媒体」を活用した情報発信の推進とある。大変有効であると思うが、SNS等で発信していること自体の周知が少ないように思われる。情報発信を活かすための積極的な周知活動やシェアなども協力いただける方へのアプローチも有効かと思うので積極的に行っていただきたい。	今後の取り組みの参考にします。	情報発信については、アンケート調査の「生涯学習に対する情報提供」の回答にも、その重要性が表れています。一方で、生涯学習活動をしていない理由として、「情報がない」と回答した割合は看過できず、ご指摘のとおり周知に一層取り組んでいく必要があると考えます。情報発信の方法が多様化する中、様々な情報へのアクセスのしやすさを向上させていくことや、媒体同士を結ぶ仕組みづくり、また学びの情報をシェアしていただけるような発信について、幅広く検討していきます。	ICT推進課 秘書広報課 生涯学習課

第3次香芝市生涯学習推進基本計画（素案）パブリックコメントにおけるご意見と、ご意見に対する考え方

ご意見No.	いただいたご意見		ご意見に対する考え方		
	該当箇所（原文のまま※）	ご意見の内容（原文のまま）	回答	考え方	関係所属等
25	基本計画の推進体制	<p>市民からの意見交換の場やアンケート調査等において意見を把握するとともに、各種団体や教育機関、地域住民の代表で構成する社会教育委員の会議等で計画の進捗について諮り、意見を取組みに反映させていただきます。</p> <p>意見</p> <p>どれだけの市民からの声を聞き、反映されるのか分かりませんが、なぜ各種団体や教育機関、地域住民の代表で構成する社会教育委員の会議等で計画の進捗を諮るのか疑問に思います。その団体（各種団体・教育機関・社会教育委員等）にはいなければ意見は言えるが計画の進捗を諮ることができないなど、市民と一緒に進んでいくようには感じられません。それより市民に会議があることを伝え、その時代その時代に合った計画に修正していけばよいと考えます。いつも同じかたの意見を聞き計画を実行するのではなく、色々な市民の意見を言える場をつくり計画を実行・修正・変更することが大切だと考えますので、市民中心の会議で計画の進捗について諮り、意見を取組み反映させればに変更して頂きたい。</p>	修正します。	<p>生涯学習の推進には、素案のP49に示すとおり、「市民をはじめ団体、教育機関、企業等と行政との連携が不可欠である」と考えております。第3次生涯学習推進基本計画の推進においても、生涯学習の主役となる市民や活動団体、そして学校教育の担い手や地域を盛り上げる事業者の方々と連携を進める上で、計画や取組みに意向を反映することが必要であり、「市民や団体等との意見交換の場やアンケート調査等」によりその意向を把握していくものです。また、生涯学習の推進において社会教育の充実が重要ですので、そのために社会教育委員の意見を取組みに反映することも必要であると考えます。記載の意図としては、市民を始めとして関係する方々の意向を広く把握すること、また社会教育施策において様々な見地から意見を伺うこと、どちらが大事ということではなく、その両方が重要であるというものです。ご指摘を受けて、その意図をより明確に表現するため、下記のとおり修正いたします。</p> <p>■修正内容 P49 第5章 基本計画推進に向けて I 基本計画の推進体制 (1) 基本計画の推進体制 6行目 【修正前】 「計画の進捗について諮り、意見を取組みに反映させていただきます。」 【修正後】 「計画の進捗について意見を伺い、こうした意向や意見を反映して計画を推進していきます。」</p>	生涯学習課
26	P49 基本計画の推進体制	若い世代の意見を取り入れて進めてほしいと思います。意見を聞くだけでなく、若い世代（10代、20代）の意見で計画を進めてもらえるような場を設けて欲しいと思います。既存の団体や現在の体制の意見では、今と変わらないと思います。	今後の取組みの参考にします。	若い世代の方々の生涯学習を推進していくことも含めて、多様な世代や状況の方々にとって学習を始めやすく、続けやすい環境づくりが重要であると存じます。そうした取組みには、既存の活動団体の方々のご意見はもちろん、市民やこれから活動されるの方々のご意見も反映していくことが必要となりますので、若い世代の方々も含めて広くご意見をいただきながら進めてまいります。	生涯学習課
27	P50 【達成目標（KGI）】	<p>・ 達成目標として2つのKGIが示されていますが、3つの基本目標に対して3つのKGIを設定し、事業ごとのKPIをすることが達成度を測りやすくすると思料しますがいかがでしょうか。</p> 	素案のとおりとします。	<p>第3次基本計画においては、計画の基本理念である「学び合いが つむぐ、誰もが輝くまち香芝」という将来像を実現することを目指します。この将来像の実現について、どれだけ達成できたかを測るためのゴールとして、「一人ひとりが学びを進めることができたか」、「学んだことを地域に活かすことができたか」を測る指標を設定し、この2つの達成度によって基本理念という、計画全体において目指す姿に向けた取組みを総合的に評価するものです。</p> <p>ご指摘のとおり、3つ設定する基本目標に対し、それぞれに達成すべき指標を設定することが計画を効果的に進めていく上で重要になるものと考えます。ご意見に示される図のように、3層構造にて取組みを進めますが、基本理念をゴールとする「達成目標（KGI）」の達成により目指し、その過程としての評価指標（KPI）を基本目標に設定して、取組みの中間成果を測りながら進めていくものといたします。</p> <p>基本目標の達成度を測る評価指標（KPI）は、本計画の策定ののちに、実施計画である「生涯学習推進プラン」において設定し、その達成に資する実施事業を全庁的にプランに盛り込みます。また、この実施事業についても、達成度を測るための指標を設定することで、一年度ごとの進捗管理を図ってまいります。</p>	生涯学習課
28	全体	もう少し、計画に夢のあるようなことがほしい。	素案のとおりとします。	第3次生涯学習推進基本計画の基本理念として、「学び合いが つむぐ、誰もが輝くまち香芝」を掲げます。これは、「誰もが『いつでも』、『どこでも』、生涯にわたり学ぶことができ、人生を豊かにしていける環境づくり」や、「学びを通して人と人がつながり、学び合いの輪が広がることで、学んだ成果を活かしてより良い環境づくり、まちづくりにつながり好循環が生まれる」、生涯学習の推進によってそうした本市の将来像を目指すものです。計画に基づいて、この基本理念の実現に向けて取組み、その将来像に夢を感じていただけるよう努めてまいります。	生涯学習課
29	全体を通じて	<p>*計画策定にあたっては、全世代を対象とした計画なので具体的に進めるにあたって全庁挙げての取組みとして欲しい。</p> <p>*まとめ役としての教育委員会の人員確保と予算だてをして頂き計画を進めて頂きたいと思ひます。</p>	今後の取組みの参考にします。	本計画は、生涯を通して全ての世代の方が学習することのできる環境づくりを推進するためのものです。その学習ニーズは、その方の状況において一人ひとり異なるものであり、分野も福祉・健康や防犯・防災、環境問題、子育てを始め、多岐にわたります。行政においても、そうした学習ニーズに対応するためには横断的な連携が不可欠であり、ご意見のとおり全庁的に取り組むことが重要であると存じます。適切な人員配置や予算編成のもと、担当する生涯学習課が働きかけを行い、全庁を挙げて計画の推進を図ってまいります。	財政課 人事課 生涯学習課